

1. エビデンスとは何か

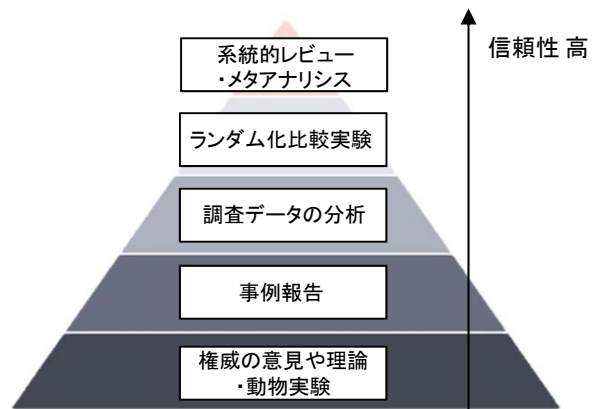
エビデンスとは

- ・施策の効果があることを示す**科学的根拠や検証結果**
- ・ピラミッドの上層であればあるほど、より信頼性が高い

※系統的レビュー・メタアナリシス
過去に公表された調査データの分析結果やランダム化比較実験を系統的に収集し、それらを統合的に分析する手法

※ランダム化比較実験
バイアス(偏り)を避け、客観的に評価することを目的として、ランダムに分けたグループのそれぞれに、異なる扱いをした結果どの程度の差が生じるかを調査する手法

エビデンスのピラミッド





少子高齢化の進展や厳しい財政状況に直面する中で、市民にとって必要度の高い事業を実施するためには、限りある資源を最大限に活用し、健康寿命の延伸など**具体的な成果を得られる施策**を展開する必要がある。



より信頼性の高いエビデンスを、できる限り収集・活用して施策を行っていくことが効果的

国においても、EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）を推進し、人材の確保・育成と必要なデータ収集並びにロジックモデルの活用等を通じて、予算の質の向上と効果検証に取り組むこととしている。
（「経済財政運営と改革の基本方針2019(内閣府)」より）

2. エビデンスの事例

エビデンス	調査の概要と結果
<p>(1) 年4回以上の「サロン*」への参加で、認知症リスクが3割減少 (2017年1月No095-16-25)</p> <p>* サロン: 介護予防を目的に設置された交流の場</p>	<p>愛知県知多郡武豊町の高齢者2,600人を7年間追跡調査</p> <p>年4回以上のサロン参加は認知症リスクを3割低下させることが分かった。サロンを設置し、軽い体操やおしゃべり、すごろくなどのゲームに参加してもらうことが認知症の予防に結びつくことが示された。</p>
<p>(2) 地域で役割ある高齢者は長生き (死亡率12%減) (2016年6月No079-16-09)</p> 	<p>愛知県の6自治体において、自治会などの組織に参加している高齢者10,271人を約5年間追跡調査</p> <p>役員(例: 会長、世話役、会計係など)かどうかで、死亡状況が異なるかを検討した結果、役員の死亡リスクは通常メンバーより12%減少していることが示された。</p>
<p>(3) 公園管理者を巻き込んだ公園の運営企画により、住民の身体活動量が増加</p> 	<p>ロサンゼルス市の50か所の公園において、公園利用者の数・身体活動量を1週間ごとに2年間測定</p> <p>公園管理者を巻き込んだ公園の運営企画を実施した方が、ただ公園があるだけの状態と比べ有意に住民の利用率が上昇し、身体活動量が増加した。</p>

※エビデンスのピラミッド

「保健福祉局事業評価ガイドライン(平成30年度)」より抜粋

(「Ackley, B. J., Swan, B. A., Ladwig, G., & Tucker, S. (2008). Evidence-based nursing care guidelines: Medical-surgical interventions.(p. 7).」, 「Greenhalgh, Trisha. How to Read a Paper: the Basics of Evidence Based Medicine< ttp://library.lvc.edu/uhtbin/cgiisirs.exe/x/0/0/5?searchdata1=0727915789>London:BMJ,2000.」, 「Glover, Jan; Izzo, David; Odat, Karen & Lei Wang. EBM Pyramid< ttp://www.ebmpyramid.org/>. Dartmouth University/Yale University. 2006.」を基にDVSHLコンソーシアムが作成)

※エビデンスの事例

・(1)～(2): 一般財団法人 日本老年学的評価研究機構(JAGES) プレスリリース資料より抜粋

・(3): 平成30年度保健福祉局調査報告書(「今後における健康づくり施策への提言」)より抜粋

(「D. A. Cohen, B. Han, K. P. Deroose, S. Williamson, T. Marsh, and T. L. McKenzie, "Increasing Physical Activity in Parks: Results of a Randomized Controlled Intervention Trial Using Community-Based Participatory Research," Am. J. Prev. Med., vol. 45, no. 5, pp. 590-7, Nov. 2013.」を基にDVSHLコンソーシアムが作成)